

第三十回 西日本菊花大会開催要項

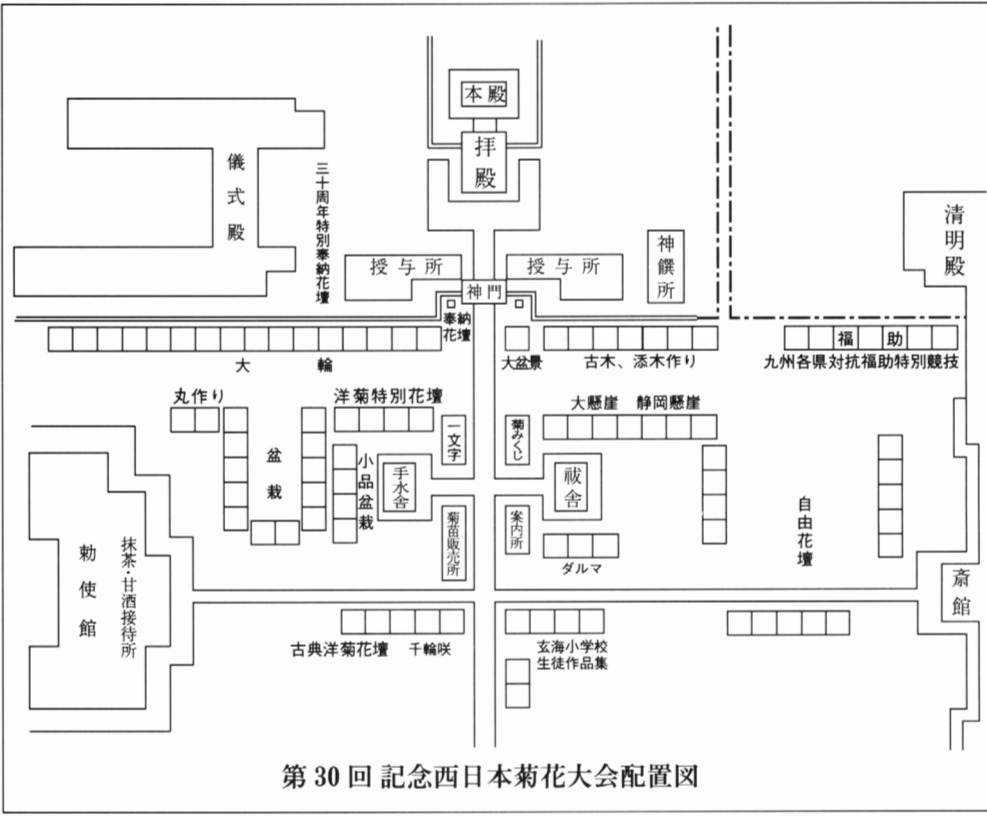
西日本を代表する菊花の祭典であり、菊づくり西日本一を決定する大会として全国的に知られた西日本菊花大会が、十一月一日より二十三日まで当大社境内に於て開催される。

本年で三十回目を迎える菊花大会は、福岡県内にも

とより、九州・山口各県の代表的菊花製作者が丹精込めて育てた名花を一堂に集めて技を競うもので、各地の愛菊家の注目を集めている。

去る九月十日吉祥斎館に於て理事会を開催、今大会の大綱・開催要項・出品花の調整などを最終的に次のように決定した。

名称 第三十回西日本菊花大会
 期間 十一月一日～二十三日
 搬入 十月二十九日
 搬出 十一月二十六日
 開催場所 宗像大社境内
 主催者 宗像大社菊花会
 代表者 会長 高島茂人



第 30 回 記念西日本菊花大会配置図

後援 福岡県・社団法人 福岡県観光連盟・福岡県農業協同組合中央会・九州旅客鉄道株式会社・宗像郡玄海町・宗像農業協同組合

審査規定 予選は各地各会を本会連理がまわし、予選審査を行い優秀なるものを本大会に出品させる。

② 審査基準 大輪盆 養(30)点 花容・色彩(調和)(20)点 合計 100点

③ 審査方法 審査員七名による採点で上位41点を選び出し審査員の合議による比較審査で最優秀賞(天臣)知事賞を決定する。他の上位には優等賞を交付する。

盆栽(50)点 花容・色彩(20)点 調和(30)点 計 100点

懸崖(30)点 花容・色彩(50)点 調和(20)点 計 100点

審査員 一、審査員 國武利浩氏 同研究所研究員 黒柳直彦氏 福岡県花き専門技師

二、審査員 術員近藤英和氏 福岡県花壇組合 連合会顧問 吉田徹生氏 以上



宮地嶽山麓下に広がる一線の雄大な高塚古墳群には須恵器即ち土器を焼く甕が数限りなく存在していた。これらは河東村須恵から山田に及ぶ一帯に多く散見され、田中氏の論文はさらに「むすび」を次の様な文章で納められている。

石器時代から金石器時代そして原史から神代と述べられて土中に眠る我が宗像古代文古の片貌は之を概観し得た算りであるが、神郡のゆかりあればその洵全国に比類なき大異彩は、宜なるかな神代宗像が有古代祭祀の遺跡と遺物の存在である。……と記され、宗像三社の沖ノ島祭祀遺跡、大高中津宮、辺津宮高宮の祭祀遺跡であるが、そうした中で宗像神社辺津宮原の地とされる田島村宗像山(上葛原)頂古墳や宮地嶽神社境内の古墳(奥宮)から発掘された祭祀具を始めとする遺物は、この神郡宗像を知る意味で重要な品々である。

時はさらに流れ、勝浦より良所に及ぶ一線はやがて奈良宮、平安の時代太宰の府庁に至る天下の大道として繁栄を極めた地となつて行く。海洋道は鐘鐺の突端を廻り、陸道は樽見越を経て神郡に入る、池田川に沿つて宗像大社の田頭に類つて、更に名見山を越えて勝浦に出たのである。今も変らぬ四ツ

「古代日本の宗教と食文化」 外国テレビ初めての収録

真夏日に映える深緑の境内で、八月二十九日、外国人によるテレビの録画撮りが行われた。

英国人の独立テレビ・ディレクターのロバート・ゴールデン氏とティナ・ゴールデン氏夫妻である。夫君のロバート氏がディレクター兼カメラマンとして撮影、夫人のティナ氏が取材記録兼アシスタントを担当する夫婦揃いの名コンビ、英国を中心にヨーロッパ諸国を中心に「ヨーロッパのテレビ局へ両氏が撮影編集したフィルムを提供し、これまで数多くのドキュメンタリー映像の名作を編集している。

ゴールデン夫妻の今度の企画は「東南アジア並びに中南米に於ける古代人の宗教と食文化」というテーマで両地域約二十ヶ国を半年間にわたって取材するハードスケジュール。

日本の撮影は、ゴールデン夫妻と親交のある鹿島建設株代表取締役会長長石川六郎氏の令嬢で考古学者で

ある上野由美子氏を通じて、日本での取材適地を打診。上野氏は父君の石川会長に話され、同会長が旧知の関係である。

出光興産株代表取締役会長 長出光昭介氏と話し合われ、より古代文化の歴史にも深くから祭祀を行っている古社である。と北部九州を取材の対象地域と決定された。

大社での収録は、神前に供える神饌(しんせん)神楽舞、祭典を中心に、本殿を始め諸建築物、高宮古代の文、衣帯水、衛生、活習慣の関係も深い北部九州が良い。特に宗像大社は古代の大陸文化の遺物も多く、歴史的にも古くから祭祀を行っている古社であり最適である。と北部九州を取材の対象地域と決定された。

特別に神饌に関しては神饌所(神饌を用意する建物)内で、神職が盛付する品々

今度のゴールデン夫妻の日本収録には前述の鹿島建設株が全面的に協賛、同社九州支店(取締役支店長 平田光宏氏)は現地担当として、次長神谷節夫氏、課長松井伸平氏が中心となる海外を担当された。大社での撮影には通訳として上野由美子氏、同令嬢有里紗さん、平田支店長夫人も同行された。

最後に当大社神宮に於いて、四一八世紀に沖津宮神前に奉納された、古代の大津諸国との交流の証である遺品と日本の当時の最高級品である祭祀遺品十二万点余の国宝重要文化財を見学、ゴールデン夫妻は「古代日本の生活風俗が出色」と有意義な取材記録が出来たと感謝の意を表され、社を後にされた。

これら副葬品が盗掘の害に遭い、古に遭い、手に重宝の手塚を手にして見るに術なき事は残念であるが、そうした中で宗像神社辺津宮原の地とされる田島村宗像山(上葛原)頂古墳や宮地嶽神社境内の古墳(奥宮)から発掘された祭祀具を始めとする遺物は、この神郡宗像を知る意味で重要な品々である。

時はさらに流れ、勝浦より良所に及ぶ一線はやがて奈良宮、平安の時代太宰の府庁に至る天下の大道として繁栄を極めた地となつて行く。海洋道は鐘鐺の突端を廻り、陸道は樽見越を経て神郡に入る、池田川に沿つて宗像大社の田頭に類つて、更に名見山を越えて勝浦に出たのである。今も変らぬ四ツ



塚の峰々の山裾一体の谷間には須恵器即ち土器を焼く甕が数限りなく存在していた。これらは河東村須恵から山田に及ぶ一帯に多く散見され、田中氏の論文はさらに「むすび」を次の様な文章で納められている。

石器時代から金石器時代そして原史から神代と述べられて土中に眠る我が宗像古代文古の片貌は之を概観し得た算りであるが、神郡のゆかりあればその洵全国に比類なき大異彩は、宜なるかな神代宗像が有古代祭祀の遺跡と遺物の存在である。……と記され、宗像三社の沖ノ島祭祀遺跡、大高中津宮、辺津宮高宮の祭祀遺跡であるが、そうした中で宗像神社辺津宮原の地とされる田島村宗像山(上葛原)頂古墳や宮地嶽神社境内の古墳(奥宮)から発掘された祭祀具を始めとする遺物は、この神郡宗像を知る意味で重要な品々である。

時はさらに流れ、勝浦より良所に及ぶ一線はやがて奈良宮、平安の時代太宰の府庁に至る天下の大道として繁栄を極めた地となつて行く。海洋道は鐘鐺の突端を廻り、陸道は樽見越を経て神郡に入る、池田川に沿つて宗像大社の田頭に類つて、更に名見山を越えて勝浦に出たのである。今も変らぬ四ツ

神郡宗像地方略誌(五)



東郷 三浦季代
蟬しぐれ満ち潮にのり海に
消ゆ

東郷 吉田 杏子
近々と見る驚太し青田風

東郷 吉武 湧泉
李寿なほ衰へ見せぬ三尺寝
母似とほうれし言葉更衣

小笹 山下しづえ
涼風もよけて通れし曇さか
な

東郷 田中 憲象
風に溶く団扇の色空つか
る

自由ヶ丘 細川 綱子
凌宵花解を乗り越え風にゆ
る

宗像大社歌会
俳句作品集 四四六

(続) 浜の寄物

150

いしいただし

キナバル山の異様な山姿に、人々は驚き、また数々の伝説を生んでいったのである。特に頂きのギザギザの岩の盛りあがり、他の山にない独特の雲間気を持っている。
ふもとの国立公園内のト



レッキングコースを散策した。私達のコースは最も初歩のコースで距離も短かく、地形的変化も少なく、日本の近くの山を散策しているという感じであった。
散策中に藤がいたるところに自生しているのを見た。

このラタン、マレーシアの森林を代表するもので、四八〇種のうち大部分がここで生育している。藤(ラタン)の手の入った(人の手を入った)藤(ラタン)のもつとも価値ある産物の一つ(熱帯多雨林の植物誌)といわれる。そういえば私達の生活のなかで、ラタ

ンは随分多く使われている。家具、夏にお世話になった敷物、座イスやベッド、ハンガーやステッキ等々、皆様方の家にもラタン製は多くあるのではないだろうか。ラタンはツル性であるから、先端や茎の部分に巻きひげ状になって、その巻きひげで樹木にからんでいく。先端の葉鞘に生えた長い葉のような葉莖(葉のほう)は、それに内向きである。海岸を歩きはじめた頃は、藤は竹の仲間としか思っていなかった。
このラタン、マレーシアの森林を代表するもので、四八〇種のうち大部分がここで生育している。藤(ラタン)の手の入った(人の手を入った)藤(ラタン)のもつとも価値ある産物の一つ(熱帯多雨林の植物誌)といわれる。そういえば私達の生活のなかで、ラタ

話題の車紹介

日産ブルーバード・シルフィ

今回紹介する車は、日産がリバイバルプランの第一弾として発表した、ブルーバード・シルフィです。この車は、ブルーバード及び、ブルーバードの後継モデルとして今秋発表されました。この車のコンセプトは「洗練された上質な雰囲気と先進の環境技術を備えた、ほど良いサイズのセダン」です。

先づ二つのポイントは、上質でこだわりのエクステリア及び、インテリアのデザインです。外観は最新のトレンドを採り入れ、上質な外観を研究しつくして設



使うほどにその良さが実感できる上質さと便利性を融合させた安全な装備を数多く採用しました。

三つのポイントは、環境への配慮です。日産の先進環境技術が生み出した、世界一クリーンな一八〇〇CCガソリンエンジンを採用しました。この車は、超低排出ガス規制に適合(ULEV)し、世界で最も厳しい米国のカルフォルニア州の排出ガス基準もクリアし、電気自動車に代替できると評価されました。

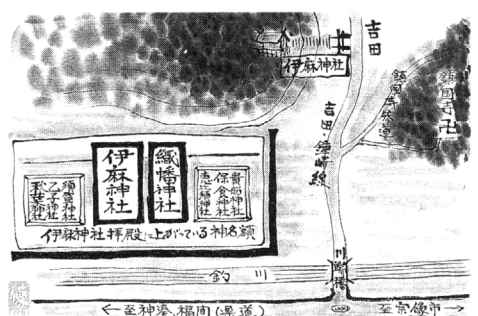
二〇〇〇CCには、新開

神郡宗像 宗像大社末社めぐり

朝日仁王講供免田參段事(御幸成)、九月九日神事(下符祭)と記されている。また五野期目録や応安神事次第にも「伊麻大明神」の祭禮次第を載せてある。

宗像大社直交差信号号を右折すると釣川に掛かる「折折橋」がある。右手に鎮国寺正面参道の石段と本堂の瓦を山間に見つ、この橋を渡ると吉田に入る。

四月より古賀市立歴史資料館にゆつとめています。九月二〇日から二〇月二日までは「唐津街道の宿場 今よみがえる青柳宿」を開催しています。街道といえは長崎街道があまり知られていないので、参考になると思います。



一五〇〇CCにはクラスを搭載し、六気筒エンジンにせまる高い静粛性と、C-VTとのベストマッチングにより、加速も実用燃費も優れた水準となっています。